

第4回山形県文化財保存活用大綱策定作業部会 議事録

日時：令和4年1月28日（金）15：30～17：00

場所：山形県生涯学習センター第一研修室

<各委員の主な意見>

議題1 パブリック・コメントの実施結果について

○意見数47件という多くの御意見が寄せられており、関心が高いと理解する。

議題2 答申案について

- 冒頭の歴史文化のコラムについて、出羽三山への参詣の歴史は、山形を代表する精神文化であり、現代の観光にも通ずるため記載を追加したほうがよい。
- p8(2)人々のライフスタイルや価値観の変化について、高品質なものを誰でも安価で入手することが可能となった一方で均質化が進み、そのことによって地域らしさ、山形らしさが失われつつあることを指摘したほうがよい。
- p10 新型コロナウイルス感染症への対応について、伝統行事の中止や縮小によって地域コミュニティが失われかけているので、そういった内容も追記したほうがよい。また、これから先も様々な感染症が生まれる恐れがあるため、新型コロナウイルス「等」の感染症への対応というふうに、少し広めておいてはどうか。
- p47<<4-4>>文化財防災に係る連携体制の構築について、建築関連の団体も文化財建造物の被害調査や平時のケアなどの観点から連携することが可能なため、今後、連携の可能性を探ってほしい。
- p62 市町村による地域計画の作成の推進について「令和3年5月に文化庁が実施した調査では、約6割の市町村が作成を予定していない」云々とあるが、全国の市町村は何割ぐらいかを明記することで、山形県の状況を示すことができると思う。また、市町村の作成が進むように県が「複数の市町村による合同の作成を促す」という支援について、あまりイメージが湧かないが、「何年までに何市町村が作成」などの数値目標を示したり、市町村が作成しやすいロードマップや全国事例を積極的に示したりして、市町村による作成が進むように県も取り組んでほしい。

議題3 その他

無し